

住まいと暮らしの、いいヒント

ペイント編

No.43

 ジャンボエンチョー

DIYハンドブック 初めてのチャレンジ 〈気軽に楽しむ塗装編〉

ちょっとした工夫で
アンティーク風の仕上がり!
オシャレなペイントに
挑戦してみましよう!




ENCHO

さっそくトライ!

お店で揃える材料は

□ 必要な材料と道具

材 料



【水性ガーデン木部用塗料(つや消し)】 【ヌーロ(水性つやあり)】

アンティーク風に仕上げるために、つや消しタイプを使用します。環境にやさしいパウチ塗料です。

ちょっとした塗装に気軽に使える少量タイプの塗料です。色のバリエーションも豊富です。木、鉄、素焼きの鉢、レンガ、紙、プラスチック(一部を除く)、発砲スチロール、コンクリートなどに使用できます。

道 具



【画鋸】



【多用途用ハケ】

ハケ目の出にくい多用途用を使用します。



【下げ缶・下げ缶用カップ】

使う分の塗料を入れて使用します。



【マスキングテープ】 【紙やすり】

2色を塗り分ける際に使用します。



180番を使用します。



【紙コップ】

【ヌーロ】を使用する際に便利です。

作業をはじめましょう (アンティーク風ペイント編)

雰囲気のあるアンティーク風ミニチェア

このミニチェアにペイントを施し、アンティーク調に仕上げます。今回は一例として、下塗りはブラウン、上塗りはホワイトで塗装します。



STEP 1 塗料の準備



【下げ缶】の中に【下げ缶用カップ】を入れ、【ガーデン木部用塗料(ブラウン)】をよく振ってから、適量注ぎます。



塗料は割り箸などでよくかきまぜましょう。



【多用途用ハケ】を両手で回したり、しごいたりして、抜け毛を落とします。

STEP 2 下塗りする



ハケの1/3程度に塗料を含ませ、垂れないように縁でしごきます。



まず裏側や細部など、塗りにくい部分から下塗りを始めます。



細部を塗りおえたら、座面や背板などの広い面を塗っていきます。



塗料をよく乾かしましょう。



D.I.Y.アドバイザー
ワンポイント!

【画鋸】を使って下塗りを効率的に!

イスの細部や裏側を塗った後、4脚に頭が球状の【画鋸】を挿しておく、底面が乾く前に裏返すことができ便利です。効率良く塗装をするために覚えておくと役立つ方法です。



STEP 3 完全に乾いたら重ね塗りする



下塗り塗料ごと【下げ缶用カップ】を取り替えます。(使用済みのハケは水につけておきましょう。)



【ガーデン木部用塗料(ホワイト)】をよく振って、適量注ぎます。



再び細部から広い面を、順に塗っていきます。重ね塗りはしっかりと塗り込まず、ハケの目が残る程度に粗く塗りましょう。



塗りおえたら塗料が完全に乾くのを待ちます。

STEP 4

アンティーク風に仕上げる



木ぎれなどに【紙やすり(180番)】を巻き付けます。



角や座面、脚などを【紙やすり(180番)】でこすり、ミニチェアに使用感が出るよう、塗装を削ったり傷をつけていきます。



D.I.Y.アドバイザー
ワンポイント!

「使用感」を演出するために

『使い込んだ味わい』がアンティーク風に仕上げるポイント。これをよりリアルに表現するために、「座ったときよく体がふれる場所」や「床と脚がこすれて傷がつきやすい場所」などを意識して削りましょう。【紙やすり(180番)】以外にも、カッターや金づちで傷をつけるのも面白い演出です。ぜひさまざまな表現を試してみてください。



お部屋での使用はもちろん、お庭やペランダに表情を添える、アンティークなガーデニング用花台としてなど、さまざまに活用できます。

※下塗りと上塗りの色は、お好みで決めましょう。



〈完成品〉

作業をはじめましょう (その他のペイント編)

木目を生かした風合いのあるペイント

拭き取り塗装で作る、ナチュラルな木目模様が美しいアンティーク。



よく振った**【ガーデン木部用塗料(グリーン)】**を**【下げ缶用カップ】**に適量注ぎ、**水で薄めて**、割り箸などでしっかり混ぜます。



塗料が乾く前に、布でよくこすると、木目がナチュラルな模様のように浮かび上がってきます。

※拭き取りの強弱で、表情や風合いが変わります。

素材の板に塗料を粗く塗ります。

【作品例】



鉢を吊したり、シュロ縄をかけたりして、お好みのままに仕上げてみましょう。

木目の美しい木を選べばよりステキな仕上がります。
お好みの色を使用しましょう。



【完成品】



お絵描き感覚の【ヌーロ】でペイント

手軽に塗れる**【ヌーロ】**なら、素焼きの鉢もオシャレな鉢に早変わり。



【ヌーロ】を**【紙コップ】**に適量出し、まず植木鉢のフチ部分を塗ります。

塗りおえたらしっかり乾燥させましょう。



【ヌーロ】が乾いたら、**【マスキングテープ】**で保護し、別色の**【ヌーロ】**で鉢本体を塗っていきます。

ひと味違うオシャレな植木鉢に、またお部屋のアクセントにも。絵を描いたり、模様を入れてもステキです。

【完成品】



塗りおえたら、**【ヌーロ】**が乾ききる前に**【マスキングテープ】**をはがし、その後しっかり乾かします。



eco! なマメ知識!

缶入りよりも
「eco」な塗料!



今回アンティーク塗装で使用したパウチ塗料は、従来の缶入りではなくパウチなので、塗る時の塗料のタレが少なく、保管や使用後の処理も楽な「eco」な塗料です。

事前準備チェックリスト

- 水性ガーデン木部用塗料(つや消し)
- ヌーロ(水性つやあり)
- 多用途用ハケ 下げ缶
- 紙コップ 下げ缶用カップ
- マスキングテープ 画鋸
- 紙やすり(180番)

注意) ご自宅にあるものでも構いません。

商品の詳しい使い方は、それぞれの説明書をご覧ください。
掲載商品の写真は、実際の商品と異なる場合もございます。



ENCHO



エンチャーwebサイト
はこちらから!

発行/(株)エンチャー

〒417-0052 静岡県富士市中央町2丁目12番12号

0120-57-0803 <http://www.encho.co.jp/>



エンチャーグループは
ISO14001の認証を
取得しています。



ISO14001:2004 認証取得

この小冊子は、環境保護のため再生紙を使用しています。

No.43-1710